

抑止力、具体的に問え



ハルペリン氏基調講演

私たちが沖縄返還の作業をしてきたときに考えていたよりも、多くの基地がい

は、沖縄返還を解決する以上長い時間がかかっている。本当に異様なことだ。日米両国の国内政治を見る必要がある。

米国内の問題はそれほど厳しいものではない。米軍人は海兵隊基地が沖縄にある問題が懐疑的な方がよく存在する。

新基地を建設することは政治的に困難であると、日米両国は懐疑的な方がよく存在する。

米と交渉、日本は及び腰

まだに残っている。沖縄はもう日本の一部で、民主主義の中にあるはずだ。しかし現状から言うと、完全にそうだとはいえない。米軍は沖縄を手放す必要はないと考えている。

米国内で今一番大きな議論になっているのは、防衛費を削減すべきかどうかという話だ。予算削減に対する圧力を考えた場合、やはり米軍基地にかかる費用が大きいと考える政治家も多い。日本、沖縄の政治的な問題は懐疑的な方がよく存在する。

またに残っている。沖縄はもう日本の一部で、民主主義の中にあるはずだ。しかし現状から言うと、完全にそうだとはいえない。米軍は沖縄を手放す必要はないと考えている。

米国内で今一番大きな議論になっているのは、防衛費を削減すべきかどうかという話だ。予算削減に対する圧力を考えた場合、やはり米軍基地にかかる費用が大きいと考える政治家も多い。日本、沖縄の政治的な問題は懐疑的な方がよく存在する。

本政府は米政府にしっかりと言うべきだ。それを説明することに日本政府側が及び腰だ。

安全保障における海兵隊の必要性についての説明を額面通りに受け取るべきではない。なぜ海兵隊が必要ないかと思う。

独立という新方針も 軍事から平和の島へ 選挙の重み熟慮して

知事選と民主主義

猿田 11月の知事選は大変重要だと思う。どのような形で迎えるべきか。佐藤 「選挙で選ばれた知事」の重みが、この9月、ものすごく重くのしかかっている。民主主義という言葉が選挙で選ばれた

「それ」という話を信じていくもならないという態度を示す。無知に基づいた民主的決定は、あまり意味がない。

猿田 民主主義と安全保障について大田さんの経験から聞きたい。大田 大変残念ながら、日本本土の人にとって沖縄問題は自分の問題として考えてもらえない。沖縄で何が起きてても痛くもかゆくもないという態度を示す

国会でもそれが構造化され、新聞では構造的差別がキーワードになった。どうすれば沖縄の基地問題を解決できるのか。考えてほしいのは、基地があれば、戦争が起きたら最初に攻撃されるということだ。私たちは10代で戦場に出さ

れた。基地問題を解決しない、沖縄戦のような悲惨なことが再び起こる可能性がある。11月の知事選は皆さんの幸せに結び付くだけでなく、子や孫にもずっと影響を与える非常に重要な選挙になる。

基本的な人権の尊重といった普遍的な価値に照らし、沖縄の現状をどう思うか。ハルペリン おそらく今、スコットランドで（独立をめぐる）投票が行われているが、そうした新しい方針を持つかどうかというところに来ていると思う。いつの日か、沖縄は独立の是非を問う投票ができるのではないだろうか。



大田昌秀氏



佐藤学氏

過重負担解消を

猿田 最後の一言ずつお願いします。大田 沖縄を本島の民主主義の島に変え、アジア・太平洋地域の軍事的な要石になるのではなく、伝統的な沖縄の平和を発信する島に変えていこう。